

# 経営理念・経営方針

JAグループは、利潤の追求を第一義とする株式会社ではなく、人々が“絆”により連帯し助け合う「相互扶助」の精神のもと、農家をはじめとする地域の組合員と一緒に協同して事業や活動をすることで、一人ひとりの活動では得られない充実した経済的・文化的利益を得ることを第一の目的とする“協同組合”組織です。

当会は、JAグループの一員として、県内各地域にあるJAの信用事業をサポートする県本部機能を担うとともに、自らも農業・地域金融機関として県内全域にわたって金融サービスを提供する事業を行っています。

## ■ 経営理念

当会は、次の「経営理念」を掲げて、日々の経営・業務に取り組んでいます。

当会は、

1. 「農と食」を基軸とするJAグループの一員として、県内農業をしっかりと支えるとともに、地域の活性化に貢献します。
2. 県下JAの信用事業の安定的かつ効率的な運営に向けて力を尽くし、県下JAの地域における存在感向上に貢献します。
3. 自らの社会的責任と公共的使命を認識し、経営の自己責任原則のもと、健全かつ適切な事業運営に徹します。
4. 職員が能力を十分に発揮できる働きがいのある職場をつくります。

## ■ 長期ビジョン

当会は、10年後に目指す姿として、「長期ビジョン」を平成28年1月に策定し、その実現に向けて、役職員が一丸となって取り組んでいます。

1. 大規模農業法人等のメインバンクとして高く支持されるとともに、地域産業の発展に貢献していると評価される金融機関
2. 県下JA信用事業における支援役・牽引役として、必要不可欠であると評価され続ける組織
3. いかなる環境の変化にも耐え得る強固な財務基盤を有する金融機関
4. 職員一人ひとりが仕事に誇りを持ち、働きがいを感じる職員満足度の高い組織

## ■ 中期経営計画

当会は、次の事項を重点取組事項とする「中期経営計画（令和4年度～令和6年度）」を策定し、その実現・実践に取り組んでいます。

### 【重点取組事項】

#### 1. 食農分野での金融仲介機能のさらなる発揮に向けた取組み

個人農業者や耕作面積が減少する一方で大規模農家や農業法人が増加するなど農業構造の変化が進むなか、農業者の成長を支援できるよう、農畜産物の付加価値向上や農業者の所得向上に向けて、農業金融機関としてこれまで以上の金融仲介機能の発揮に取り組めます。

#### 2. 農業・暮らし・地域の各分野での存在感発揮に向けた指導支援

個人農業者の高齢化や後継者不足による生産基盤の縮小、人口減少・少子高齢化によるマーケットの縮小が進むなか、農業・暮らし・地域の各分野でのJAバンクの存在感を高めるべく、組合員等が有するニーズを的確に捉えた対応実践にかかる指導支援に取り組めます。

#### 3. 持続可能なJA経営基盤の確立に向けた指導支援

厳しい収益環境の長期化を見据え、店舗運営の合理化・効率化とコストマネジメントの徹底追及にかかる支援に加え、JA経営における持続可能な収益性・健全性の確保に向けた指導支援に取り組めます。

#### 4. 収益力の強化に向けた取組み

金融機関を取り巻く収益環境は今後も厳しい状況が続くものと想定されることから、県下JAへの安定還元をはじめとした本会機能を十全に発揮すべく、運用力の強化と業務運営の合理化に取り組めます。

#### 5. 人材育成および内部管理態勢等の強化に向けた取組み

限りある経営資源を最大限活用すべく、専門性ある人材の創出や事務運営体制の強化、職場環境の整備に取り組めます。また、経営の健全性・適切性確保の観点から、内部管理態勢等の強化に取り組めます。

## ■ JAバンク三重中期戦略

JAバンク三重は、次の事項を基本方針および実践事項とする「JAバンク三重中期戦略（令和4年度～令和6年度）」を策定し、その実現・実践に取り組んでいます。

### 【基本方針】

相談業務や資金供給による金融仲介機能を十全に発揮し、持続可能な顧客基盤・経営基盤を確立するとともに、農業・暮らし・地域の各分野で存在感を高める。

### 【重点実践事項】

- 食農バリューチェーンの拡大と高質な農業金融機能の発揮による農業者の成長支援
- 大口高齢者に対する資産相談機能の十全発揮と次世代層の囲い込み

### 【実践事項】

- メイン利用世帯の拡充に向けたライフプランサポートの実践
- 店舗運営の合理化・効率化とコストマネジメントの徹底追及
- 専門人材の育成と渉外・窓口の顧客対応力引上げ
- 経営管理態勢の強化